



スワップボディコンテナ車両利活用促進に向けた官民検討会
2018年10月11日

油圧式スワップボデーの概要

中型・増トン仕様



大型仕様



(1) 油圧ストローク

- ・中型・増トン仕様
400mm
- ・大型仕様
500mm

(2) 位置あわせ

- ・シリンダの昇降により
合わせる。

(3) 緊締方法

- ・ツイストロック

※緊締位置は独自位置

過去の生産台数(1979年～)

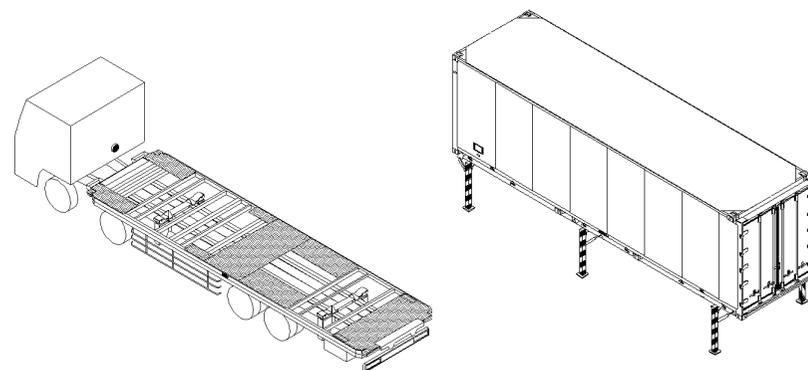
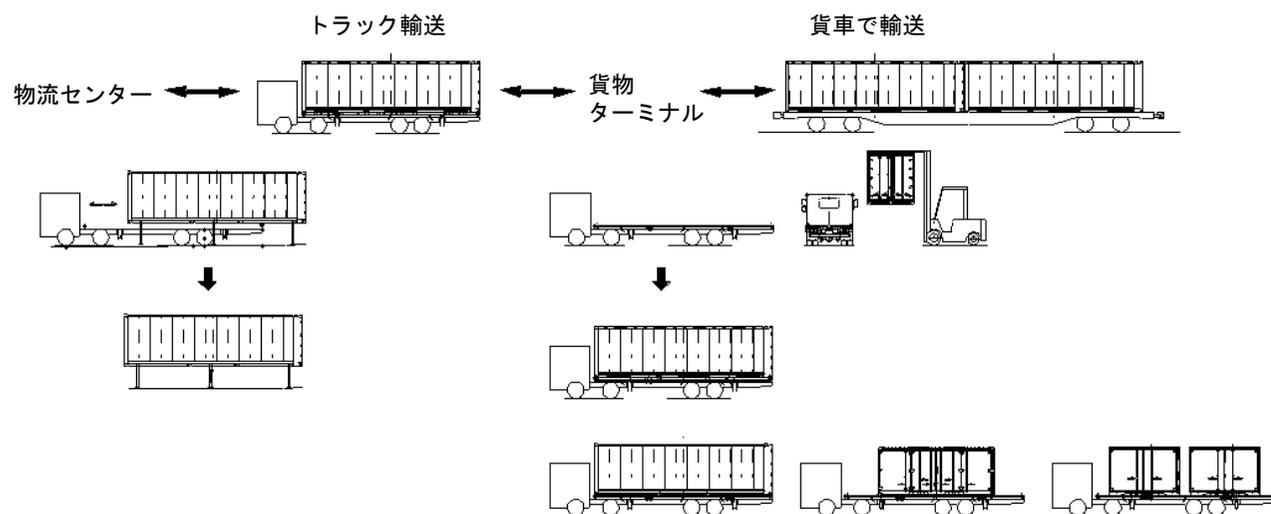
車型	台数	
キャリア	1 0 0 0	
J R仕様ボデー	8 (31ft級)	
バンボデー	3 0 0	計 1 5 0 0
ウイングボデー	7 5	
アオリ付平ボデー	1 1 2 5	

※1 キャリア実績の90%は、中型・増トン仕様(ボデー:平ボデー)

参考実績(1)

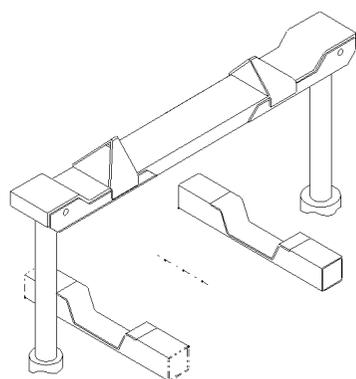
＜JR31ftコンテナ(油圧式脱着装置付)＞

- ・JR規格に準拠。2段積み可能。
- ・シリンダストローク:400mm。



参考実績(2)

<脱着方法(シリンダ)>

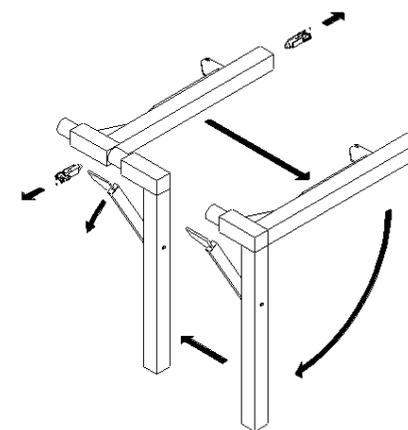


コンテナ側



キャリア側

<支持脚>



油圧式スワップボデーの普及阻害要因

1. 重量(積載量)

- ・積載量が確保できない。
- ・油圧装置取付けにより重量増となる。⇒実際に積載できる重量減。
(コンテナ正味積載量=キャリア最大積載量-コンテナ自重)

2. 規格(緊締位置)

- ・独自規格であるため、指定位置での緊締が必要となる。
(JR仕様は、脱着装置以外規格に準拠)

3. コスト

- ・油圧装置などを取付けるため割高となる。